

# 瑛一先生のつぶやき

No. 1

## 笑う門には福来る



我が家では母の命日にお坊さんが見え、お経を上げて家内とお茶をして雑誌「〇の友」を置いて帰られることが20年間続いている。偶然目にしたその一文を紹介しつぶやきの嚆矢とします。『幸せだから笑うのではない。笑うから幸せなのだ』19世紀から20世紀にかけて活躍したフランスの哲学者アランの言葉です。一般的には『幸せだから笑うのだ。幸せでもないのに笑えるか』です。しかし21世紀初頭、ドイツ・マグデブルグ大学のミュンテ博士たちの実験で（強制的にせよ）笑顔でものごとを眺めると、笑顔でない場合と比べて、幸福感が増したそうです。話しているときに一人が笑顔になると周りにいる人の表情は自然に和らぐ。逆に一方



が怒った表情になると相手の表情も厳しくなる、笑顔は強力な武器（大野裕）。如来像や菩薩像の微笑を思い浮かべ私も穏やかな笑顔で過ごしたいと思います。

### 編集後記

「山路来て 何やらゆかし すみれ草」  
松尾芭蕉の春の俳句です。  
寂しい山道に来て、何となく心惹かれるすみれ草が咲いているのを見つけたよ…という意味だそうです。  
すみれは小さな花ですが、寂しい山道の中で綺麗に咲いている様子が目に浮かびますね。

（広報委員 小嶺ゆかり）

## 4月より金城町の地域見守り隊に参加します。



発足式の様子



パトロール実施者証受け取りました



マグネットシートを貼りつけ



いざ出発